

【倫理学専攻】

<教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）>

倫理学専攻は、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、以下に示すカリキュラムを編成し実施する。

1. 倫理学の主要理論と理論史に関する基本的な知識を習得するための科目として、「倫理学概論」「倫理学の基礎」（2年次履修指定科目）、「西洋哲学倫理学史」を必修科目として設置する。
2. 倫理学の主要文献を原語で読解するための科目として、「哲学倫理学原典講読（独・仏・露・英）」（2年次履修指定科目）を必修科目として設置する。より発展的な学習のため、「倫理学洋書講読」を設置する。
3. 多様な倫理思想・宗教思想の理解を深めるための科目として、「日本倫理思想」、「東洋倫理思想」、「キリスト教概論」を設置する。学生は、以上の3科目と「仏教学概論」（全専攻共通科目）のうち1つを必修科目として履修しなければならない。
4. 現代社会の身近な問題を手がかりにして近現代の自然観や生命観、人間観や社会観を問い直すための科目として、「倫理学の課題」を必修科目として設置する。
5. 倫理学上重要な諸理論を詳細にわたって理解し、その先端的研究に触れるための科目として、「哲学倫理学特殊」を設置する。
6. 卒業論文を執筆するために、「倫理学研究会」（3、4年次履修指定科目）を必修科目として設置する。学生は自らの関心に従って研究テーマを選択し、所属する研究会の担当教員による指導を受けることができる。ただし、原則として2年間同一教員の研究会に所属しなければならない。